

センター・サンアビ通信

皆生さんさん祭りを開催しました！

十二月四日（日）、米子市心身障害者福祉センター、米子サン・アビリティーズにて「皆生さんさん祭り」を開催しました。



この祭りは、食・文化そしてスポーツを通して障がい者への理

解、地域の方々との交流を図り、共生社会の実現への一歩となればと社会福祉法人養和会が初めて主催。当日は約三〇〇名の参加がありました。

米子市心身障害者福祉センターでは、当施設で実施している自主事業の書道教室、絵画教室、

人形劇、ハーバリウムなどの作品展示、障がい者福祉施設であるS

OISTANCE、おぞら、あかり広場、APLIC

COなどの食事販売を行いました。

また、皆生温泉の足湯を設置したり、

また、皆生温泉の足湯を設置したり、

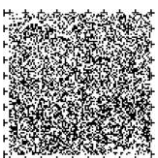


理学療法士による骨密度測定を行いました。

米子サン・アビリティーズでは、車いすバスケット、車いすラグビー、ボッチャ、サウンドテニスなど、十一種類の障がい者スポーツを体験してもらいました。

そして、車いすラグビー日本代表でリオ・東京パラリンピック銅メダリストの池透暢選手の特別講演、車いすラグビー体験も行い、「ガチン！」と車いす同士がぶつかり合う車いすラグビー独特の雰囲気を感じてもらいました。

障がいのある人もない人も、さらに多くの方が一緒になって楽しめるよう継続して開催していきます！



◀ 目の不自由な方のための音声コード





米子市心身障害者福祉センターでは、当センターで行っている自主事業の講座以外にも様々なイベントを実施しています！
12月は、臨床美術とハーバリウム教室を開催しました！



臨床美術体験

自分の思うままに描く

12月10日（土）、絵やオブジェなどの作品を楽しみながら作ることによって脳を活性化させ、高齢者の介護予防や認知症予防等の効果が期待できる芸術療法、「臨床美術」を開催しました。

今回の開催は今年8月の開催に続き2回目。前回同様、臨床美術士の任意団体「クリニカルアート鳥ト雲」の3名の方を講師に、テーマは「夜」。黒い紙にスプーン一杯のゴールドの液をたらし、上下左右に動かすことでオリジナルの模様にあの色、この色を足して、世界に一つしかない、自分だけの作品を完成させました。

ハーバリウム作り

幻想的で透明感あふれるお花

12月8、9日、お花を美しいまま長く楽しめるハーバリウム製作の教室を開催しました。

松田智華氏（介護福祉士）を講師に、今回のテーマはクリスマス。たくさんのお花材から好きな色、好きな形を選び、自分だけのオリジナルハーバリウムが完成。参加者は、「普段、作る機会がないのでとても楽しかった。」と嬉しそうに自分の作ったハーバリウムを持って帰られました。



ボッチャサンアビ杯を開催！



12月10日（土）、米子サン・アビリティーズにて「ボッチャサンアビ杯」を開催しました。この日は、子どもから高齢者、障がいのある方、ない方約30名の参加があり、9チームに分かれて予選リーグを行った後、各リーグの1位、2位、3位同士で決勝リーグを行いました。



▼ 目の不自由な方のための音声コード

